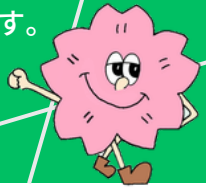


情報活用能力を通じて 子どもの主体性を引き出す！

情報活用能力の育成を通して、子どもが主体的に学び続ける授業づくりに取り組んでいます。

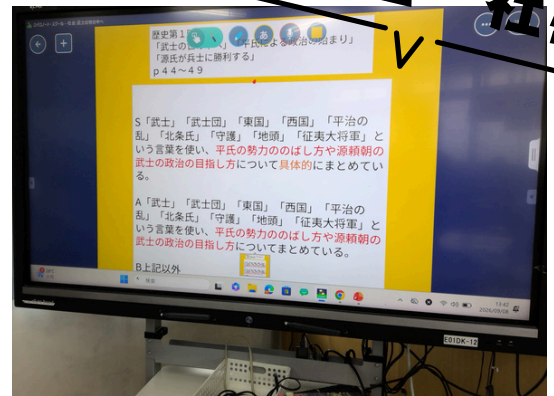
子どもたちが疑問をもち、情報を集めて整理し、伝え合う姿、
学習を自分で調整している姿、その学びの過程をレポートしていきます！



6年生 社会

授業の様子

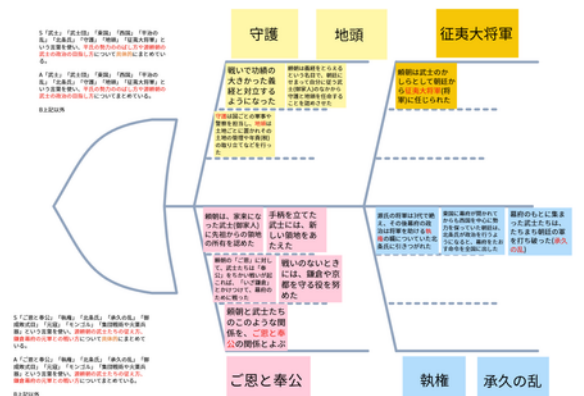
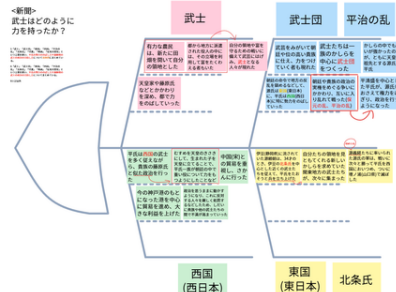
「武士はどのように力を持ったのか」をテーマに、ループリックを確認しながら、自分たちで学習を進めていました。教科書やクロームブックから必要な情報を集め、調べたことをもとに、武士が力を持っていた過程を新聞にまとめていっていました。自分で時間も調整し、だれと学ぶかも考え、進めていっています。



教科書から情報収集、シンキングツールで整理

まずは教科書をよく読み、必要な情報を見つけていっていました。集めた情報は、シンキングツールを使って仲間分けしたり、つなげたりしながら整理していました。「どの情報を伝えたいか」「どの順番で伝えると分かりやすいか」を考え、新聞に載せる内容を選んでいました。

すてきな姿 ✨



教科書やクロームブックで見つけた情報をそのまま書き写すのではなく、「これは武士が力を持ったことと関係しているかな？」と考えながら、必要な情報を選んでいました。さらに、伝えたい順番やつながりを考えながら新聞にまとめ、集めた情報を自分の考えに合わせて整理し、表現する姿がすてきでした ✨

